

製品安全データシート

作成日：2016/6/21

改訂日：2023/3/22

SDS No. MH10-70-005

見直し日：2023/3/22

1. 製品及び会社情報

製品名： 酸化ガリウム（Ⅲ）
会社名： アジア物性材料株式会社
住所： 横浜市緑区中山二丁目 15-1
担当部門： 品質保証課
電話番号： 045-931-4841(代表)
FAX 番号： 045-932-8401
緊急連絡先： 同上
整理番号(SDS No.): MH10-70-005
想定される用途 電子材料、研究用途、他
及び使用上の制限： 想定用途以外へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類： 分類できない
危険有害性情報： 殆ど毒性はないが吸入又は経口摂取すれば有害である。
眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。
物理的及び化学的危険性：通常の手扱いは、危険性は低い。
環境影響 データなし

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないまたは分類できない。

3. 組成、成分情報

化学名： 酸化ガリウム（Ⅲ）
濃度又は濃度範囲（含有量）：99.99%以上
化学特性（化学式）： Ga_2O_3
分子量： 187.44
官報公示整理番号： 1-695
(化審法・安衛法)
CAS No.: 12024-21-4
危険有害成分： 特になし

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、充分にうがいをさせる。症状があるときは、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせ、多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、医師の診断を受ける。
- 目に入った場合： 清浄な水で最低 15 分以上洗眼したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 大量の水を飲ませ、吐かせる。異常があれば医師の手当を受ける。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水スプレー 粉末消火剤 泡消火剤 二酸化炭素
水性膜泡消火剤
- 火災時の特有危険有害性：火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特有の消火方法： 周辺火災の場合、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
着火した場合、は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。
- 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、呼吸保護具を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和： 通気換気を充分に行い、掃き集めて回収し、そのあとを雑巾、ウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 特になし
- 注意事項： 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。
- 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
- 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
- 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 安全取扱い注意事項：吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

- 適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 技術的対策： 特になし
- 混触禁止物質： データなし
- 安全な容器包装材料：ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
- 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準：設定されていない

許容濃度

- OSHA PEL： 設定されていない
- ACGIH TLV(s)： 設定されていない
- 日本産業衛生学会：設定されていない

保護具

- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）
- 皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣 保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状：	粉末
色：	白色
臭い：	データなし
pH：	データなし
融点：	1740±25℃
沸点（初留点）：	データなし
引火点：	データなし
自然発火温度：	データなし
爆発範囲（上限・下限）：	データなし
蒸気圧：	データなし
比重：	5.95
溶解度	

溶媒に対する溶解性：うすい酸に溶けにくく、水にほとんど溶けない。

n-オクタノール／水分配係数 log Po/w :データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	常温常圧で安定
危険有害反応可能性：	データなし
避けるべき条件：	強い酸化剤
危険有害な分解生成物：	データなし

11. 有害性情報

急性毒性：	経口 ラット LD50: 10g/kg
皮膚腐食性・刺激性：	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	データなし
誤えん有害性：	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性：	データなし

残留性／分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
水生環境有害性 短期（急性）：	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄物処理業者に依頼する。
汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合、内容を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
国連分類： 非該当
海洋汚染物質：非該当

注意事項：運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

消防法： 非該当
毒物及び劇物取締法： 非該当
労働安全衛生法： 非該当
船舶安全法（危規則）： 非該当
航空法： 非該当
化学物質管理促進法(PRTR 法)： 非該当

16. その他の情報

引用文献：産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版（株）（1977）

化学大辞典 東京化学同人(1989)

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH(1985-1986)

本データシートは各種文献などに基づいて作成してありますが、かならずしもすべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。